

対象校No. 1020
注4

学校コード F140310110641
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

認可

注2
九州共立大学 スポーツ学部 こどもスポーツ教育学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人福原学園
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	教務課
職名・氏名	カチヨウホ サ スガタ マコト 課長補佐・菅田 誠
電話番号	093-693-3042
(夜間)	093-693-3042
e-mail	kyoumu@kyukyo-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

スポーツ学部

＜こどもスポーツ教育学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	27
7. その他全般的事項	29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人福原学園

(2) 大 学 名

九州共立大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒807-8585

福岡県北九州市八幡西区自由ヶ丘1番8号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(フクハラ キミコ) 福原 公子 (令和5年6月)		
学 長	(オクダ トシヒロ) 奥田 俊博 (令和5年4月)		
学 部 長	(ハセガワ シン) 長谷川 伸 (令和6年4月)		
学科長等	(モリ セイゴ) 森 誠護 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
スポーツ学部 こどもスポーツ教育学科 学士 (こどもスポーツ教育学)	体育関係 教育学・保育 学関係	4 年	50 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	200 人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	50人 50 () []	人 () []	—	0.82倍	0.82倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	73 () []	() []				
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	73 () []	() []				
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	64 () []	() []				
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	41 () []	() []				
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.82	—				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」に「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択)
・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
・ 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	41 [—] (—)	— [—] (—)	
2 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3 年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	41 [—] (—)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	41 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の数値を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の数値については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数 (a)}}{\text{令和元年度の在学者数 (b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数 (a)}}{\text{令和2年度の在学者数 (b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数 (a)}}{\text{令和3年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数 (a)}}{\text{令和4年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数 (a)}}{\text{令和5年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数 (a)}}{\text{令和6年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{41} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜スポーツ学部 こどもスポーツ教育学科＞

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
総合共通科目	教育科目	文化・芸術領域 ことばと日本文化	1・2前・後		2							4	
		スポーツの文化	1・2前・後		2							2	
		ことばと異文化	1・2前・後		2							3	
		情報文化論	1・2前・後		2							1	
		歴史・社会領域 歴史と国際情勢	1・2前・後		2							1	
		現代国家と法(日本国憲法)	1・2前・後		2							1	
		暮らしと経済	1・2前・後		2							2	
		人権・同和教育	1・2前・後		2							1	
		人間・環境領域 人間と哲学	1・2前・後		2							2	
		生命と地球	1・2前・後		2							2	
		心の科学	1・2前・後		2							2	
		共生社会を生きる	1・2前・後		2							1	
	言語・異文化理解科目	日本語	日本語表現法Ⅰ	1後		1							1
			日本語表現法Ⅱ	2前		1							1
			日本語表現法Ⅲ	2後		1							1
		英語	英語Ⅰ	1前	1								1
			英語Ⅱ	1後	1								1
			英語コミュニケーションⅠ	2前		1							1
			英語コミュニケーションⅡ	2後		1							1
			実用英語	2前		1							1
		中国語	中国語Ⅰ	1前		1		1					
			中国語Ⅱ	1後		1		1					
			中国語Ⅲ	2前		1		1					
			中国語Ⅳ	2後		1		1					
			実用中国語	2前		1		1					
		韓国語	韓国語Ⅰ	1前		1							1
			韓国語Ⅱ	1後		1							1
			韓国語Ⅲ	2前		1							1
			韓国語Ⅳ	2後		1							1
			実用韓国語	2前		1							1
	イングリッシュワークショップ		1前・後		1							1	
	海外研修		1～4前集中		2							1	
	情報教育科目	データサイエンス入門	1前	1								1	
		情報処理演習Ⅰ	1後	1			1						
		情報処理演習Ⅱ	2前		1		1						
		情報処理演習Ⅲ	2後		1							1	
キャリア教育科目	キャリアデザイン領域	キャリア基礎演習Ⅰ	1集中	1					3				
		キャリア基礎演習Ⅱ	2集中	1			2		1				
		キャリア基礎演習Ⅲ	3集中	1			2		1				
		キャリアデザインⅠ	3前	1			1		1				
		キャリアデザインⅡ	3後	1			1		1				
		インターンシップ(企業研修)	2集中		2							1	
	キャリア発展領域	スキルアップ講座A	3後		1							1	
		スキルアップ講座B	2(3)前		1							1	
		スキルアップ講座C	2(3)後		1							1	
		スキルアップ講座G	3(4)前		1							1	
		スキルアップ講座H	3(4)後		1							1	
		スキルアップ講座R	3(4)前		1							1	
スキルアップ講座S	3(4)後		1							1			
	小計(49科目)	—	9	54	0	4	0	4	0	0	30		

【令和6年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教育 科目	文化・ 芸術 領域 歴史・ 社会 領域 人間・ 環境 領域	ことばと日本文化	1・2前・後		2							4		
		スポーツの文化	1・2前・後		2							2		
		ことばと異文化	1・2前・後		2							2		
		情報文化論	1・2前・後		2							1		
		歴史と国際情勢	1・2前・後		2							1		
		現代国家と法(日本国憲法)	1・2前・後		2							1		
		暮らしと経済	1・2前・後		2							2		
		人権・同和教育	1・2前・後		2							1		
		人間と哲学	1・2前・後		2							2		
		生命と地球	1・2前・後		2							2		
		心の科学	1・2前・後		2							2		
		共生社会を生きる	1・2前・後		2							1		
		言語・異文化 理解科目	日本語	日本語表現法Ⅰ	1後		1							1
				日本語表現法Ⅱ	2前		1							1
日本語表現法Ⅲ	2後				1							1		
英語	英語Ⅰ		1前	1								1		
	英語Ⅱ		1後	1								1		
	英語コミュニケーションⅠ		2前		1							1		
	英語コミュニケーションⅡ		2後		1							1		
	実用英語		2前		1							1		
中国語	中国語Ⅰ		1前		1							1		
	中国語Ⅱ		1後		1							1		
	中国語Ⅲ		2前		1		1							
	中国語Ⅳ		2後		1		1							
	実用中国語		2前		1		1							
韓国語	韓国語Ⅰ		1前		1							1		
	韓国語Ⅱ	1後		1							1			
	韓国語Ⅲ	2前		1							1			
	韓国語Ⅳ	2後		1							1			
	実用韓国語	2前		1							1			
イングリッシュワークショップ		1前・後		1							1			
海外研修		1～4前集中		2							1			
情報 教育 科目	データサイエンス入門	1前	1								1			
	情報処理演習Ⅰ	1後	1			1								
	情報処理演習Ⅱ	2前		1		1								
	情報処理演習Ⅲ	2後		1							1			
キャリア 教育 科目	キャリア デザイン 領域	キャリア基礎演習Ⅰ	1集中	1					2					
		キャリア基礎演習Ⅱ	2集中	1			2		1					
		キャリア基礎演習Ⅲ	3集中	1			2		1					
		キャリアデザインⅠ	3前	1			1		1					
		キャリアデザインⅡ	3後	1			1		1					
		インターンシップ(企業研修)	2集中		2							1		
	キャリア 発展 領域	スキルアップ講座A	3後		1							1		
		スキルアップ講座B	2(3)前		1							1		
		スキルアップ講座C	2(3)後		1							1		
		スキルアップ講座G	3(4)前		1							1		
	スキルアップ講座H	3(4)後		1							1			
	スキルアップ講座R	3(4)前		1							1			
	スキルアップ講座S	3(4)後		1							1			
	小計(49科目)	—	9	54	0	4	0	3	0	0	32			

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
留 学 生 特 別 科 目	初級日本語ⅠA	1前・(後)		2		1						
	初級日本語ⅠB	1前・(後)		2		1						
	初級日本語ⅠC	1前・(後)		2							1	
	初級日本語ⅠD	1前・(後)		2							1	
	初級日本語ⅠE	1前・(後)		2							1	
	初級日本語ⅡA	1前・(後)		2							1	
	初級日本語ⅡB	1前・(後)		2		1						
	初級日本語ⅡC	1前・(後)		2							1	
	初級日本語ⅡD	1前・(後)		2							1	
	初級日本語ⅡE	1前・(後)		2							1	
	中級日本語Ⅰ	1前		1							2	
	中級日本語Ⅱ	1後		1							2	
	上級日本語Ⅰ	2前		1							2	
	上級日本語Ⅱ	2後		1							2	
専 門 教 育 科 目	解剖生理学	1前		2							1	
	スポーツ運動学(運動方法学を含む.)	1前		2				1				
	スポーツ指導論	1前	2			1					1	
	スポーツ生理学	1後		2							1	
	スポーツバイオメカニクス	1後		2							1	
	スポーツ社会学	1後		2							1	
	スポーツ心理学	1後		2				1				
	スポーツ医学	2前		2							1	
	スポーツ栄養学	2後		2							1	
	体カトレーニング論	3前		2							1	
	レクリエーション論	4前		2				1				
	ス ポ ー ツ 教 育 科 目	国語科教育概論(書写を含む.)	1後	2			1					
		社会科教育概論	1後	2								1
		算数科教育概論	1後	2			1					
理科教育概論		2前	2			1						
児童英語概論		2後		2							1	
音楽科教育概論		1後		2				1				
体育科教育概論		1前	2			1		1				
国語科指導法		2前		2		1						
社会科指導法		2前		2							1	
算数科指導法		2前		2		1						
理科指導法		2後		2							1	
図画工作指導法		3前		2							1	
生活科指導法		3前		2		1						
音楽科指導法		2前		2					1		1	
家庭科指導法	3前		2							1		
体育科指導法	3前		2									
児童英語指導法	3前		2							1		
水泳指導法	3前		2							1		
ダンス指導法	3前		2							1		
ス ポ ー ツ 教 育 科 目	キャリアアドビンス教員養成(初等)Ⅰ	2後		1		3	1					
	キャリアアドビンス教員養成(初等)Ⅱ	3前		1		3	1					
	キャリアアドビンス教員養成(初等)Ⅲ	3後		1		1		2			1	
	キャリアアドビンス教員養成(初等)Ⅳ	4通		1		1		2			1	
	スポーツ教育概論	1後	2			1		1				
	学校体育のマネジメント	2後		2		1						
	学校体育指導演習	2後		2		1		1			1	
	器械運動指導法(体づくり運動を含む.)	3前		1							1	
ス ポ ー ツ 教 育 科 目	陸上競技指導法	3後		1				1				
	球技指導法A	3後		1		1					2	
	球技指導法B	3後		1							3	
	武道指導法	3後		1							1	
	学校保健Ⅰ(学校安全を含む.)	2後		2								
	小計(18科目)	—	0	28	0	1	0	0	0	0	8	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
留 学 生 特 別 科 目	初級日本語ⅠA	1前・(後)		2		1					
	初級日本語ⅠB	1前・(後)		2		1					
	初級日本語ⅠC	1前・(後)		2							1
	初級日本語ⅠD	1前・(後)		2							1
	初級日本語ⅠE	1前・(後)		2							1
	初級日本語ⅡA	1前・(後)		2							1
	初級日本語ⅡB	1前・(後)		2							1
	初級日本語ⅡC	1前・(後)		2							1
	初級日本語ⅡD	1前・(後)		2							1
	初級日本語ⅡE	1前・(後)		2							2
	中級日本語Ⅰ	1前		1							2
	中級日本語Ⅱ	1後		1							2
	上級日本語Ⅰ	2前		1							2
	上級日本語Ⅱ	2後		1							2
専 門 教 育 科 目	解剖生理学	1前		2							1
	スポーツ運動学(運動方法を含む。)	1前		2				1			
	スポーツ指導論	1前	2			1					1
	スポーツ生理学	1後		2							1
	スポーツバイオメカニクス	1後		2							1
	スポーツ社会学	1後		2							1
	スポーツ心理学	1後		2				1			
	安全・健康管理	2前		2							1
	スポーツ栄養学	2後		2							1
	体カトレーニング論	3前		2							1
	レクリエーション論	4前		2				1			
	国語科教育概論(書写を含む。)	1後	2			1					
	社会科教育概論	1後	2								1
	算数科教育概論	1後	2			1					
理科教育概論	2前	2			1						
児童英語概論	2後		2							1	
音楽科教育概論	1後		2				1				
体育科教育概論	1前	2			1		1				
国語科指導法	2前		2		1						
社会科指導法	2前		2							1	
算数科指導法	2前		2		1						
理科指導法	2後		2							1	
図画工作指導法	3前		2							1	
生活科指導法	3前		2		1						
音楽科指導法	2前		2							1	
家庭科指導法	3前		2							1	
体育科指導法	3前		2				1				
児童英語指導法	3前		2							1	
水泳指導法	3前		2							1	
ダンス指導法	3前		2							1	
キャリアアドビンス教員養成(初等)Ⅰ	2後		1		3	1					
キャリアアドビンス教員養成(初等)Ⅱ	3前		1		3	1					
キャリアアドビンス教員養成(初等)Ⅲ	3後		1		1		2			1	
キャリアアドビンス教員養成(初等)Ⅳ	4通		1		1		2			1	
ス ポ ー ツ 教 育 科 目	スポーツ教育概論	1後	2			1		1			
	学校体育のマネジメント	2後		2		1					1
	学校体育指導演習	2後		2		1		1			1
	器械運動指導法(体づくり運動を含む。)	3前		1							1
	陸上競技指導法	3後		1				1			
	球技指導法A	3後		1		1					2
	球技指導法B	3後		1							3
	武道指導法	3後		1							1
	学校保健Ⅰ(学校安全を含む。)	2後		2							1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
			修	択	由	授	授	師	教	手	
スポーツ 教育科目	学校保健Ⅱ(小児保健を含む。)	3前		2							1
	精神保健	2後		2							1
	学校保健指導演習	3後		2							1
	ジュニアスポーツ論	2前		2				1			1
	ジュニアスポーツ指導演習	2後		2				1			1
	衛生学及び公衆衛生学	1前		2							1
	救急処置	2前後		2							1
	ゼミナールⅠ	2前	2			3					
	ゼミナールⅡ	2後	2			3					
	ゼミナールⅢ	3前	2				1	2			
ゼミナール 科目	ゼミナールⅣ	3後	2				1	2			
	キャリア発展ゼミナール	4通	4			5	1	6			
スポーツ 実技科目	体操(体づくり運動を含む。)	1前後		1							1
	器械運動	2前後		1							1
	陸上競技A	1前後	1					1			1
	陸上競技B	2前後		1							2
	水泳	2前後	1				1				
	バスケットボール	1前後		1		1		1			
	バレーボール	2前後		1							1
	サッカー	1前後		1							1
	ハンドボール	2前		1							1
	ラグビー	2前		1							1
	ソフトボール・野球	3前後		1							1
	テニス	3前後		1							1
	バドミントン	2前後		1							1
	ダンス	2前後		1							1
	剣道	2前後		1							1
	柔道	2前後		1							1
	レクリエーション実技	3後		1				1			
	キャンプ	1～4集中		1				1			1
	小計(69科目)	—	28	93	0	6	2	6	0	0	32
自由 選択科目	教職論	1前後		2							1
	教育原論	1後		2							1
	教育心理学	2前		2			1				
	特別支援教育概論	2前		1			1				
	教育制度論	2前		2							1
	教育課程論	2後		2							1
	道徳教育指導法	3後		2							1
	教育方法論 (情報通信技術の活用を含む。)	3後		2							2
	特別活動・総合的な学習の時間指導法	3前		2							1
	生徒・進路指導論	3前		2							1
	教育相談	2後		2			1				
	学校体験活動	3前後		2							1
	教育実習(小)	3後集中		4				1			1
自由 選択科目	教育実習事前事後指導(小)	3通		1				1			1
	教職実践演習(小・中・高)	4後		2				1			1
	小計(69科目)	—	0	30	0	0	1	1	0	0	7
保健体育科 教育法	保健体育科教育法Ⅰ	2前			2	1					
	保健体育科教育法Ⅱ	2後			2	1					
	保健体育科教育法Ⅲ	3前			2	1					
	保健体育科教育法Ⅳ	3後			2	1					
	教育実習Ⅰ(中・高)	4集中			2			1			1
	教育実習Ⅱ(中・高)	4集中			2			1			1
	教育実習事前事後指導(中・高)	4通			1			1			1
	公務員試験概論	1前(後)			1						1
	数的処理Ⅰ	1後			1						1
	社会科学Ⅰ	1後			1						1
	教職一般教養Ⅰ	1前			1						1
	教職一般教養Ⅱ	1後			1						1
	文章理解	2後			1						1
	数的処理Ⅱ	2前			1						1
	小計(69科目)	—	0	30	0	0	1	1	0	0	8
保健体育科 教育法	保健体育科教育法Ⅰ	2前			2	1					
	保健体育科教育法Ⅱ	2後			2	1					
	保健体育科教育法Ⅲ	3前			2	1					
	保健体育科教育法Ⅳ	3後			2	1					
	教育実習Ⅰ(中・高)	4集中			2			1			1
	教育実習Ⅱ(中・高)	4集中			2			1			1
	教育実習事前事後指導(中・高)	4通			1			1			1
	公務員試験概論	1前(後)			1						1
	数的処理Ⅰ	1後			1						1
	社会科学Ⅰ	1後			1						1
	教職一般教養Ⅰ	1前			1						4
	教職一般教養Ⅱ	1後			1						4
	文章理解	2後			1						1
	数的処理Ⅱ	2前			1						1
	小計(69科目)	—	0	30	0	0	1	1	0	0	8

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
自由 科目	数的処理Ⅲ	2後			1						1
	社会科学Ⅱ	2前			1						1
	自然科学	2前			1						1
	人文科学	2後			1						1
	憲法演習	2前			1						1
	民法(総則、物権)演習	2前			1						1
	民法(債権、親族・相続)演習	2後			1						1
	行政法演習	2後			1						1
	ミクロ経済学演習	2前			1						1
	マクロ経済学演習	2後			1						1
	教職教養基礎Ⅰ	2前			1						1
	保健体育科Ⅰ	2後			1						1
	教職教養基礎Ⅱ	2後			1						1
	法律科目演習Ⅰ	3前			1						1
	法律科目演習Ⅱ	3後			1						1
	経済科目演習Ⅰ	3前			1						1
	経済科目演習Ⅱ	3後			1						1
	行政科目演習Ⅰ	3前			1						1
	行政科目演習Ⅱ	3後			1						1
	会計学演習	3前			1						1
	公務員試験直前対策Ⅰ(教養)	3前			1						1
	文章理解演習	3前			1						1
	人文科学演習	3前			1						1
	公務員試験直前対策Ⅱ(教養)	3後			1						1
	社会科学演習	3後			1						1
	自然科学演習	3後			1						1
	公務員試験直前対策Ⅰ(SPI)	3前			1						1
	公務員試験直前対策Ⅱ(SPI)	3後			1						1
	専門科目記述式演習	3後			1						1
	教職教養応用Ⅰ	3前			1						1
	保健体育科Ⅱ	3前			1						1
	教職教養応用Ⅱ	3後			1						1
	公務員試験直前対策Ⅲ(教養)	4前			1						1
公務員試験直前対策Ⅲ(SPI)	4前			1						1	
公務員人物試験対策	4前(後)			1						1	
教職総合演習	4前			2						1	
小計(69科目)		—	0	0	57	1	0	1	0	0	10
合計(205科目)		—	37	205	57	7	2	6	0	0	81
総合共通科目30単位以上、専門教育科目60単位以上、自由選択科目18単位以上の合計124単位以上を修得すること。 なお、自由選択科目には、自学科で履修した卒業要件単位数を超える科目及び他学科・他学部、又は自学科の他コースで履修した科目を含む。											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
自由 科目	数的処理Ⅲ	2後			1						1
	社会科学Ⅱ	2前			1						1
	自然科学	2前			1						1
	人文科学	2後			1						1
	憲法演習	2前			1						1
	民法(総則、物権)演習	2前			1						1
	民法(債権、親族・相続)演習	2後			1						1
	行政法演習	2後			1						1
	ミクロ経済学演習	2前			1						1
	マクロ経済学演習	2後			1						1
	教職教養基礎Ⅰ	2前			1						1
	保健体育科Ⅰ	2後			1						1
	教職教養基礎Ⅱ	2後			1						1
	法律科目演習Ⅰ	3前			1						1
	法律科目演習Ⅱ	3後			1						1
	経済科目演習Ⅰ	3前			1						1
	経済科目演習Ⅱ	3後			1						1
	行政科目演習Ⅰ	3前			1						1
	行政科目演習Ⅱ	3後			1						1
	会計学演習	3前			1						1
	公務員試験直前対策Ⅰ(教養)	3前			1						1
	文章理解演習	3前			1						1
	人文科学演習	3前			1						1
	公務員試験直前対策Ⅱ(教養)	3後			1						1
	社会科学演習	3後			1						1
	自然科学演習	3後			1						1
	公務員試験直前対策Ⅰ(SPI)	3前			1						1
	公務員試験直前対策Ⅱ(SPI)	3後			1						1
	専門科目記述式演習	3後			1						1
	教職教養応用Ⅰ	3前			1						1
	保健体育科Ⅱ	3前			1						1
	教職教養応用Ⅱ	3後			1						1
公務員試験直前対策Ⅲ(教養)	4前			1						1	
公務員試験直前対策Ⅲ(SPI)	4前			1						1	
公務員人物試験対策	4前(後)			1						1	
教職総合演習	4前			2						1	
小計(69科目)		－	0	0	57	1	0	1	0	0	12
合計(176科目)		－	37	205	57						
総合共通科目30単位以上、専門教育科目60単位以上、自由選択科目18単位以上の合計124単位以上を修得すること。 なお、自由選択科目には、自学科で履修した卒業要件単位数を超える科目及び他学科・他学部、又は自学科の他コースで履修した科目を含む。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・時間割編成における担当者の変更「ことばと日本文化」
- ・時間割編成における担当者の変更「ことばと異文化」
- ・時間割編成における担当者の変更「日本語表現法Ⅰ」
- ・時間割編成における担当者の変更「中国語Ⅰ」
- ・時間割編成における担当者の変更「中国語Ⅱ」
- ・時間割編成における担当者の変更「キャリア基礎演習Ⅰ」
- ・時間割編成における担当者の変更「初級日本語ⅠC」
- ・時間割編成における担当者の変更「初級日本語ⅡB」
- ・時間割編成における担当者の変更「初級日本語ⅡE」
- ・時間割編成における担当者の変更「中級日本語Ⅱ」
- ・日本スポーツ協会アスレティックトレーナー養成資格のカリキュラム変更に伴い「スポーツ医学」を「安全・健康管理」に
科目名称変更
- ・時間割編成における担当者の変更「バスケットボール」
- ・兼任教員の退職による担当者の変更「教職論」
- ・時間割編成における担当者の変更「教育原論」
- ・兼任教員の退職による担当者の変更「教職一般教養Ⅰ」（4人の兼任教員でオムニバス）
- ・兼任教員の退職による担当者の変更「教職一般教養Ⅱ」（4人の兼任教員でオムニバス）

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
23 科目	132 科目	50 科目	205 科目	23 科目	132 科目	50 科目	205 科目	
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						「該当なし」
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						「該当なし」
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講、廃止科目なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{205} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	40,084.53㎡	— ㎡	— ㎡	40,084.53㎡				
	運動場用地	136,313.89㎡	— ㎡	— ㎡	136,313.89㎡				
	小 計	176,398.42㎡	— ㎡	— ㎡	176,398.42㎡				
	そ の 他	373,621.82㎡	— ㎡	— ㎡	373,621.82㎡				
	合 計	550,020.24㎡	— ㎡	— ㎡	550,020.24㎡				
(2)校舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	九州女子大学 九州女子大学大学院 九州女子短期大学 標準設置面積 15,502.30㎡				
	36,427.38㎡ (36,427.38 ㎡)	835.49㎡ (835.49 ㎡)	— ㎡ (— ㎡)	37,262.87㎡ (37,262.87 ㎡)					
(3)教室等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	60室	24室	8室	6室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)				
(4)専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	スポーツ学部子どもスポーツ教育学科			15 室					
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体 学術雑誌の種類は申請時の 記載ミス 開設準備に伴う増冊による 変更（6）	
	スポーツ学部 子どもスポーツ 教育学科	244,325 [52,331] (241,773 [52,198])	(1,950 [1,110]) — (19 [19]) (1,950 [1,110]) — (19 [19])	19 [19] (19 [19])	2,430 2,424 (2,430) — (2,424)	— (—)	— (—)		
	計	244,325 [52,331] (241,773 [52,198])	(1,950 [1,110]) — (19 [19]) (1,950 [1,110]) — (19 [19])	19 [19] (19 [19])	2430 2,424 (2,430) — (2,424)	— (—)	— (—)		
(6)図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	3,499.04㎡		431		300,000				
(7)体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	15,971.02㎡		野球場1面、サブ野球場1面、人工芝サッカー場1面、人工芝ラグビー場1面、人工芝多目的コート1面、第3種公認陸上競技場1面、投擲場1面、テニスコート5面、トレーニング室、多目的室内練習場						
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人 当 り 研究 費 等	300千円	300千円	図書購入費	4,319千円	3,631千円	0千円	
		共 同 研 究 費 等	— 千円	— 千円	設備購入費	25,374千円	29,005千円	0千円	
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		1,300千円	1,080千円	1,080千円	1,080千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	九 州 共 立 大 学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率 (控除後)	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
経済学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		福岡県北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8 令和3年度から入学定員変更（300→350） 令和6年度から入学定員変更（350→360） 令和3年度から入学定員変更（100→80） 令和6年度から入学定員変更（80→50）			
経済・経営学科	4	410	0	1,640	学士 (経済学)	1.02	1.00	-	昭和40	-				
地域創造学科	4	360	0	1,440	学士 (経済学)	1.07	1.05	令和3	平成21	同上				
スポーツ学部	4	50	0	200	学士 (経済学)	0.79	0.77	-	平成31	同上				
スポーツ学科	4	270	0	1,080	-	1.14	1.13	-	平成18	-	令和6年度から入学定員変更（250→220）			
こどもスポーツ教育学科	4	220	0	880	学士 (スポーツ学)	1.16	1.14	-	平成18	同上				
	4	50	0	200	学士 (こどもスポーツ教育等)	0.82	0.82	-	令和6	同上				
大学全体	4	680	0	2,720	-	1.07	1.05	-	-	-				

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- 記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - 学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - 本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - 「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - 「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - 「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - 「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますので参照ください。

5 教員組織の状況

<スポーツ学部 子どもスポーツ教育学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高田 俊也 ＜令和6年4月＞ 教育学修士 キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅰ※ キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅱ※ 学校体育のマネジメント ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ キャリア発展ゼミナール 保健体育科教育法Ⅰ 保健体育科教育法Ⅱ 保健体育科教育法Ⅲ 保健体育科教育法Ⅳ 体育科教育概論 スポーツ教育概論 学校体育指導演習
		田中 雄二 ＜令和6年4月＞ 工学博士 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 理科教育概論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ キャリア発展ゼミナール
		溝邊 和成 ＜令和6年4月＞ 博士（学術） 生活科指導法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ キャリア発展ゼミナール
		沙 秀程 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 実用中国語 初級日本語ⅠA 初級日本語ⅠB 初級日本語ⅡB
		藏内 保明 ＜令和6年4月＞ 教育学学士 キャリア基礎演習Ⅱ キャリア基礎演習Ⅲ 国語科教育概論（書写を含む。） 国語科指導法 キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅰ※ キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅱ※ キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅲ※ キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅳ※ キャリア発展ゼミナール
		田口 誠 ＜令和6年4月＞ 学士（教育学） キャリア基礎演習Ⅱ キャリア基礎演習Ⅲ 算数科教育概論 算数科指導法 キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅰ※ キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅱ※ キャリア発展ゼミナール
		川面 剛 ＜令和6年4月＞ 修士（スポーツ健康科学） スポーツ指導論 球技指導法A バスケットボール
		森 誠護 ＜令和7年4月＞ 修士（スポーツ健康科学） 水泳

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高田 俊也 ＜令和6年4月＞ 教育学修士 キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅰ※ キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅱ※ 学校体育のマネジメント ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ キャリア発展ゼミナール 保健体育科教育法Ⅰ 保健体育科教育法Ⅱ 保健体育科教育法Ⅲ 保健体育科教育法Ⅳ 体育科教育概論 スポーツ教育概論 学校体育指導演習
		田中 雄二 ＜令和6年4月＞ 工学博士 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 理科教育概論 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ キャリア発展ゼミナール
		溝邊 和成 ＜令和6年4月＞ 博士(学術) 生活科指導法 ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ キャリア発展ゼミナール
		沙 秀程 ＜令和6年4月＞ 修士(教育学) 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 実用中国語 初級日本語ⅠA 初級日本語ⅠB
		堀 康 (39) ＜令和6年4月＞ 財政学修士 初級日本語ⅡB
		藏内 保明 ＜令和6年4月＞ 教育学士 キャリア基礎演習Ⅱ キャリア基礎演習Ⅲ 国語科教育概論(書写を含む。) 国語科指導法 キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅰ※ キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅱ※ キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅲ※ キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅳ※ キャリア発展ゼミナール
		田口 誠 ＜令和6年4月＞ 学士(教育学) キャリア基礎演習Ⅱ キャリア基礎演習Ⅲ 算数科教育概論 算数科指導法 キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅰ※ キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅱ※ キャリア発展ゼミナール
		川面 剛 ＜令和6年4月＞ 修士(スポーツ健康科学) スポーツ指導論 球技指導法A バスケットボール
		森 誠護 ＜令和7年4月＞ 修士(スポーツ健康科学) 水泳
		専

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月> 保有学位等			<就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	清永 裕子 <令和6年4月> 修士（教育学） キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅰ※ キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅱ※	専	准教授	清永 裕子 <令和6年4月> 修士（教育学） キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅰ※ キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅱ※
		ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ キャリア発展ゼミナール 教育心理学 特別支援教育概論 教育相談			ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ キャリア発展ゼミナール 教育心理学 特別支援教育概論 教育相談
専	講師	中村 有希 <令和6年4月> 修士（教育学） 体育科教育概論 体育科指導法 スポーツ教育概論 学校体育指導演習 ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ キャリア発展ゼミナール 教育実習（小） 教育実習事前事後指導（小） 教職実践演習（小・中・高） 教育実習Ⅰ（中・高） 教育実習Ⅱ（中・高） 教育実習事前事後指導（中・高）	専	講師	中村 有希 <令和6年4月> 修士（教育学） 体育科教育概論 体育科指導法 スポーツ教育概論 学校体育指導演習 ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ キャリア発展ゼミナール 教育実習（小） 教育実習事前事後指導（小） 教職実践演習（小・中・高） 教育実習Ⅰ（中・高） 教育実習Ⅱ（中・高） 教育実習事前事後指導（中・高）
専	講師	花田 遼子 <令和6年4月> 修士（学術） キャリア基礎演習Ⅰ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ レクリエーション論 ジュニアスポーツ論 ジュニアスポーツ指導演習 キャリア発展ゼミナール レクリエーション実技 キャンプ	専	講師	花田 遼子 <令和6年4月> 修士（学術） キャリア基礎演習Ⅰ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ レクリエーション論 ジュニアスポーツ論 ジュニアスポーツ指導演習 キャリア発展ゼミナール レクリエーション実技 キャンプ
専	講師	佐藤 紗和子 <令和6年4月> 修士（教育学） キャリア基礎演習Ⅱ キャリア基礎演習Ⅲ 音楽科教育概論 キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅱ※ キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅲ※ キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅳ※ キャリア発展ゼミナール	専	講師	佐藤 紗和子 <令和6年4月> 修士（教育学） キャリア基礎演習Ⅱ キャリア基礎演習Ⅲ 音楽科教育概論 キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅱ※ キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅲ※ キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅳ※ キャリア発展ゼミナール
専	講師	山口 恭平 <令和6年4月> 修士（体育学） キャリア基礎演習Ⅰ キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅱ※ キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅲ※ 陸上競技指導法 キャリア発展ゼミナール 陸上競技A	専	講師	山口 恭平 <令和6年4月> 修士（体育学） キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅱ※ キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅲ※ 陸上競技指導法 キャリア発展ゼミナール 陸上競技A
専	講師	實宝 希祥 <令和6年4月> 博士（スポーツ科学） スポーツ運動学（運動方法を学ぶ。） スポーツ心理学 ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ キャリア発展ゼミナール	専	講師	實宝 希祥 <令和6年4月> 博士（スポーツ科学） スポーツ運動学（運動方法を学ぶ。） スポーツ心理学 ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ キャリア発展ゼミナール
専	講師	長嶺 健 <令和6年4月> 修士（教育学） キャリア基礎演習Ⅰ キャリア発展ゼミナール バスケットボール	専	講師	長嶺 健 <令和6年4月> 修士（教育学） キャリア基礎演習Ⅰ キャリア発展ゼミナール
兼任	教授	島尻 芳人 <令和6年4月> 博士（理学） 情報文化論 データサイエンス入門 情報処理演習Ⅲ	兼任	教授	島尻 芳人 <令和6年4月> 博士（理学） 情報文化論 データサイエンス入門 情報処理演習Ⅲ
兼任	教授	中山 伸介 <令和6年4月> 博士（工学） 生命と地球	兼任	教授	中山 伸介 <令和6年4月> 博士（工学） 生命と地球
兼任	教授	得居 雅人 <令和6年4月> 博士（学術） スポーツ生理学	兼任	教授	得居 雅人 <令和6年4月> 博士（学術） スポーツ生理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月＞ 保有学位等			<就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	長谷川 伸 <令和6年4月＞ 博士（人間科学）	兼任	教授	長谷川 伸 <令和6年4月＞ 博士（人間科学）
		スポーツバイオメカニクス ソフトボール・野球			スポーツバイオメカニクス ソフトボール・野球
兼任	教授	樋口 行人 <令和7年4月＞ 博士（学術）	兼任	教授	樋口 行人 <令和7年4月＞ 博士（学術）
		スポーツ栄養学			スポーツ栄養学
兼任	教授	重枝 武司 <令和7年4月＞ 体育学士	兼任	教授	重枝 武司 <令和7年4月＞ 体育学士
		水泳指導法 教育実習（小） 教育実習事前事後指導（小） 教職実践演習（小・中・高） 保健体育科Ⅰ 教育実習Ⅰ（中・高） 教育実習Ⅱ（中・高） 教育実習事前事後指導（中・高）			水泳指導法 教育実習（小） 教育実習事前事後指導（小） 教職実践演習（小・中・高） 保健体育科Ⅰ 教育実習Ⅰ（中・高） 教育実習Ⅱ（中・高） 教育実習事前事後指導（中・高）
兼任	教授	伊藤 潔 <令和7年4月＞ スポーツ健康科学博士	兼任	教授	伊藤 潔 <令和7年4月＞ スポーツ健康科学博士
		武道指導法 柔道			武道指導法 柔道
兼任	教授	小野村 浩 <令和6年4月＞ 修士（学術）			令和6年3月31日退職
		教職論 特別活動・総合的な学習の時間指導法 生徒・進路指導論 教職一般教養Ⅰ 教職一般教養Ⅱ 教職教養基礎Ⅰ 教職教養基礎Ⅱ 教職教養応用Ⅰ 教職教養応用Ⅱ 教職総合演習			
			兼任	講師	糸山 剛司 <令和6年4月＞ 学士（工学）
					教職一般教養Ⅰ 教職一般教養Ⅱ
			兼任	講師	松元 早苗 <令和6年4月＞ 学士（教養）
					教職一般教養Ⅰ 教職一般教養Ⅱ
			兼任	講師	三浦 千紗 <令和6年4月＞ 学士（文学）
					教職一般教養Ⅰ 教職一般教養Ⅱ
			兼任	講師	豊島 慎司 <令和6年4月＞ 修士（教育学）
					教職一般教養Ⅰ 教職一般教養Ⅱ
兼任	教授	毛利 浩 <令和8年4月＞ 体育学士	兼任	教授	毛利 浩 <令和6年4月＞ 体育学士
		学校体験活動 保健体育科Ⅱ			学校体験活動 保健体育科Ⅱ 教職論
兼任	教授	森江 由美子 <令和7年4月＞ 博士（法学）	兼任	教授	森江 由美子 <令和6年4月＞ 博士（法学）
		民法（総則、物権）演習 民法（債権、親族・相続）演習			民法（総則、物権）演習 民法（債権、親族・相続）演習
兼任	准教授	後藤 太郎 <令和6年4月＞ 修士（体育学）	兼任	准教授	後藤 太郎 <令和6年4月＞ 修士（体育学）
		スポーツの文化			スポーツの文化
兼任	准教授	黒木 陸善 <令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	准教授	黒木 陸善 <令和6年4月＞ 博士（文学）
		イングリッシュワークショップ			イングリッシュワークショップ
兼任	准教授	尾上 百合加 <令和7年4月＞ 修士（経営学）	兼任	准教授	尾上 百合加 <令和7年4月＞ 修士（経営学）
		インターンシップ（企業研修）			インターンシップ（企業研修）
兼任	准教授	疋田 晃久 <令和6年4月＞ 学士（体育学）	兼任	准教授	疋田 晃久 <令和6年4月＞ 学士（体育学）
		スポーツ指導論 随上競技指導法 随上競技B			スポーツ指導論 随上競技指導法 随上競技B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月> 保有学位等			<就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	横 尚申 <令和7年4月> 修士（スポーツ健康科学） 球技指導法B バレーボール	兼任	准教授	横 尚申 <令和6年4月> 修士（スポーツ健康科学） 球技指導法B バレーボール
兼任	准教授	辰見 康剛 <令和7年4月> 博士（スポーツ科学） 救急処置	兼任	准教授	辰見 康剛 <令和6年4月> 博士（スポーツ科学） 救急処置
兼任	講師	二宮 愛理 <令和6年4月> 博士（文学） ことばと日本文化	兼任	講師	二宮 愛理 <令和6年4月> 博士（文学） ことばと日本文化
兼任	講師	後藤 平太 <令和6年4月> 博士（PhD） 球技指導法A サッカー キャンプ	兼任	講師	後藤 平太 <令和6年4月> 博士（PhD） 球技指導法A サッカー キャンプ
兼任	講師	前屋敷 太郎 <令和6年4月> 修士（英米言語文化） ことばと異文化 英語Ⅰ 英語Ⅱ スキルアップ講座B スキルアップ講座C スキルアップ講座R スキルアップ講座S	兼任	講師	前屋敷 太郎 <令和6年4月> 修士（英米言語文化） 英語Ⅰ 英語Ⅱ スキルアップ講座B スキルアップ講座C スキルアップ講座R スキルアップ講座S
兼任	講師	木村 美奈子 <令和6年4月> 修士（工学） 共生社会を生きる	兼任	講師	木村 美奈子 <令和6年4月> 修士（工学） 共生社会を生きる
兼任	講師	マーカス・ヨング <令和7年4月> M.A. TESOL 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 実用英語	兼任	講師	マーカス・ヨング <令和7年4月> M.A. TESOL 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 実用英語
兼任	講師	田中 雅子 <令和6年4月> 修士（文学） 海外研修	兼任	講師	田中 雅子 <令和6年4月> 修士（文学） 海外研修
兼任	講師	清家 空併 <令和6年4月> 修士（学術） 解剖生理学 体力トレーニング論	兼任	講師	清家 空併 <令和6年4月> 修士（学術） 解剖生理学 体力トレーニング論
兼任	講師	松崎 淳 <令和6年4月> 修士（学術） スポーツ社会学	兼任	講師	松崎 淳 <令和6年4月> 修士（学術） スポーツ社会学
兼任	講師	久保 誠司 <令和7年4月> 修士（体育学） スポーツ医学	兼任	講師	久保 誠司 <令和7年4月> 修士（体育学） 安全・健康管理
兼任	講師	田代 智紀 <令和7年4月> 修士（体育学） 学校体育指導演習 球技指導法A ハンドボール	兼任	講師	田代 智紀 <令和7年4月> 修士（体育学） 学校体育指導演習 球技指導法A ハンドボール
兼任	講師	戸田 尊 <令和7年4月> 修士（スポーツ健康科学） 球技指導法B ラグビー	兼任	講師	戸田 尊 <令和7年4月> 修士（スポーツ健康科学） 球技指導法B ラグビー
兼任	講師	田中 滉至 <令和7年4月> 修士（教育学） 学校保健Ⅰ（学校安全を含む。） 学校保健Ⅱ（小児保健を含む。） 学校保健指導演習	兼任	講師	田中 滉至 <令和7年4月> 修士（教育学） 学校保健Ⅰ（学校安全を含む。） 学校保健Ⅱ（小児保健を含む。） 学校保健指導演習
兼任	講師	伊藤 宣範 <令和6年4月> 学士（教育学） 公務員試験概論 数的処理Ⅰ 数的処理Ⅱ 数的処理Ⅲ 自然科学 公務員試験直前対策Ⅰ（教養） 公務員試験直前対策Ⅱ（教養） 自然科学演習 公務員試験直前対策Ⅰ（SPI） 公務員試験直前対策Ⅱ（SPI） 公務員試験直前対策Ⅲ（教養） 公務員試験直前対策Ⅲ（SPI） 公務員人物試験対策	兼任	講師	伊藤 宣範 <令和6年4月> 学士（教育学） 公務員試験概論 数的処理Ⅰ 数的処理Ⅱ 数的処理Ⅲ 自然科学 公務員試験直前対策Ⅰ（教養） 公務員試験直前対策Ⅱ（教養） 自然科学演習 公務員試験直前対策Ⅰ（SPI） 公務員試験直前対策Ⅱ（SPI） 公務員試験直前対策Ⅲ（教養） 公務員試験直前対策Ⅲ（SPI） 公務員人物試験対策

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	西嶋 久視 <令和6年4月> 学士(法学)	兼任	講師	西嶋 久視 <令和6年4月> 学士(法学)
		社会科学Ⅰ 社会科学Ⅱ 人文科学 憲法演習 行政法演習 法律科目演習Ⅰ 法律科目演習Ⅱ 人文科学演習 社会科学演習 専門科目記述式演習			社会科学Ⅰ 社会科学Ⅱ 人文科学 憲法演習 行政法演習 法律科目演習Ⅰ 法律科目演習Ⅱ 人文科学演習 社会科学演習 専門科目記述式演習
兼任	講師	入江 雅仁 <令和7年4月> 学士(農学)	兼任	講師	入江 雅仁 <令和7年4月> 学士(農学)
		ミクロ経済学演習 マクロ経済学演習 経済科目演習Ⅰ 経済科目演習Ⅱ 専門科目記述式演習			ミクロ経済学演習 マクロ経済学演習 経済科目演習Ⅰ 経済科目演習Ⅱ 専門科目記述式演習
兼任	講師	黒田 伸太郎 <令和8年4月> 学士(7th ミニストレーション)	兼任	講師	黒田 伸太郎 <令和8年4月> 学士(7th ミニストレーション)
		行政科目演習Ⅰ 行政科目演習Ⅱ			行政科目演習Ⅰ 行政科目演習Ⅱ
兼任	講師	正田 淳一 <令和8年4月> 学士(経済学)	兼任	講師	正田 淳一 <令和8年4月> 学士(経済学)
		会計学演習			会計学演習
兼任	講師	古浦 修子 <令和6年4月> 博士(文学)			
		ことばと日本文化			
			兼任	講師	大川内 夏樹 <令和6年4月> 博士(文学)
					ことばと日本文化
兼任	講師	大場 健司 <令和6年4月> 博士(学術)	兼任	講師	大場 健司 <令和6年4月> 博士(学術)
		ことばと日本文化 日本語表現法Ⅱ 日本語表現法Ⅲ 文章理解 文章理解演習			日本語表現法Ⅱ 日本語表現法Ⅲ 文章理解 文章理解演習
			兼任	講師	安河内 敬太 <令和6年4月> 博士(学術)
					ことばと日本文化
兼任	講師	前田 知津子 <令和6年4月> 博士(比較社会文化)	兼任	講師	前田 知津子 <令和6年4月> 博士(比較社会文化)
		ことばと日本文化			ことばと日本文化
兼任	講師	八坂 昭仁 <令和6年4月> 博士(スポーツ健康科学)	兼任	講師	八坂 昭仁 <令和6年4月> 博士(スポーツ健康科学)
		スポーツの文化			スポーツの文化
兼任	講師	黄 冬柏 <令和6年4月> 文学博士	兼任	講師	黄 冬柏 <令和6年4月> 文学博士
		ことばと異文化			中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	森田 司 <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	講師	森田 司 <令和6年4月> 修士(文学)
		ことばと異文化			ことばと異文化
兼任	講師	鎌田 厚志 <令和6年4月> 修士(法学)	兼任	講師	鎌田 厚志 <令和6年4月> 修士(法学)
		歴史と国際情勢			歴史と国際情勢
兼任	講師	古澤 勝人 <令和6年4月> Ph.D. in Politics(英国)	兼任	講師	古澤 勝人 <令和6年4月> Ph.D. in Politics(英国)
		現代国家と法(日本国憲法)			現代国家と法(日本国憲法)
兼任	講師	渡部 忠信 <令和6年4月> 修士(法学)	兼任	講師	渡部 忠信 <令和6年4月> 修士(法学)
		暮らしと経済			暮らしと経済
兼任	講師	川山 里菜 <令和6年4月> 修士(経済学)	兼任	講師	川山 里菜 <令和6年4月> 修士(経済学)
		暮らしと経済			暮らしと経済
兼任	講師	城下 健太郎 <令和6年4月> 博士(法学)	兼任	講師	城下 健太郎 <令和6年4月> 博士(法学)
		人権・同和教育			人権・同和教育
兼任	講師	野見山 待子 <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	講師	野見山 待子 <令和6年4月> 博士(文学)
		人間と哲学			人間と哲学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	脇 崇晴 <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	講師	脇 崇晴 <令和6年4月> 博士(文学)
		人間と哲学			人間と哲学
兼任	講師	小山内 康人 <令和6年4月> 博士(理学)	兼任	講師	小山内 康人 <令和6年4月> 博士(理学)
		生命と地球			生命と地球
兼任	講師	内田 美津子 <令和6年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	内田 美津子 <令和6年4月> 修士(教育学)
		心の科学			心の科学
兼任	講師	仁木 朝陽 <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	講師	仁木 朝陽 <令和6年4月> 修士(文学)
		心の科学			心の科学
兼任	講師	井料 佐紀子 <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	講師	井料 佐紀子 <令和6年4月> 修士(文学)
		日本語表現法Ⅰ			初級日本語ⅡE
		初級日本語ⅠC			中級日本語Ⅰ
		中級日本語Ⅰ			上級日本語Ⅰ
		中級日本語Ⅱ			上級日本語Ⅱ
			兼任	講師	高須 芳之介 <令和6年4月> 修士(言語・文学)
					日本語表現法Ⅰ
兼任	講師	洪 鍾熙 <令和6年4月> 修士(美術教育専攻)	兼任	講師	洪 鍾熙 <令和6年4月> 修士(美術教育専攻)
		韓国語Ⅰ			韓国語Ⅰ
		韓国語Ⅱ			韓国語Ⅱ
		韓国語Ⅲ			韓国語Ⅲ
		韓国語Ⅳ			韓国語Ⅳ
兼任	講師	大町 侑平 <令和8年4月> 修士(工学)	兼任	講師	大町 侑平 <令和8年4月> 修士(工学)
		スキルアップ講座A			スキルアップ講座A
兼任	講師	岩崎 靖 <令和8年4月> 修士(工学)	兼任	講師	岩崎 靖 <令和8年4月> 修士(工学)
		スキルアップ講座G			スキルアップ講座G
		スキルアップ講座H			スキルアップ講座H
兼任	講師	立花 奈央 <令和6年4月> 学士(法学)	兼任	講師	立花 奈央 <令和6年4月> 学士(法学)
		初級日本語ⅠD			初級日本語ⅠD
		スキルアップ講座P			スキルアップ講座P
兼任	講師	沈 若冰 <令和6年4月> 修士(商学)	兼任	講師	沈 若冰 <令和6年4月> 修士(商学)
		初級日本語ⅠE			初級日本語ⅠE
兼任	講師	毛 壁 <令和6年4月> 博士(比較社会文化)	兼任	講師	毛 壁 <令和6年4月> 博士(比較社会文化)
		初級日本語ⅡA			初級日本語ⅡA
		初級日本語ⅡD			初級日本語ⅡD
兼任	講師	加納 亜里沙 <令和6年4月> 学士(教養)	兼任	講師	加納 亜里沙 <令和6年4月> 学士(教養)
		初級日本語ⅡC			初級日本語ⅡC
					中級日本語Ⅱ
兼任	講師	平田 直子 <令和6年4月> 専門学校卒	兼任	講師	平田 直子 <令和6年4月> 専門学校卒
		初級日本語ⅡE			初級日本語ⅡE
					初級日本語ⅠC
兼任	講師	山内 美奈 <令和6年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	山内 美奈 <令和6年4月> 修士(教育学)
		中級日本語Ⅰ			中級日本語Ⅰ
		中級日本語Ⅱ			中級日本語Ⅱ
		上級日本語Ⅰ			上級日本語Ⅰ
兼任	講師	栗山 優希 <令和8年4月> 修士(文学)	兼任	講師	栗山 優希 <令和8年4月> 修士(文学)
		スキルアップ講座N			スキルアップ講座N
		スキルアップ講座O			スキルアップ講座O
兼任	講師	押井 那歩 <令和6年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	押井 那歩 <令和6年4月> 修士(教育学)
		社会科教育概論			社会科教育概論
		社会科指導法			社会科指導法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	中島 久代 <令和7年4月> 博士(文学)	兼任	講師	中島 久代 <令和7年4月> 博士(文学)
		児童英語概論 キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅲ※ キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅳ※			児童英語概論 キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅲ※ キャリアアドバンス教員養成(初等)Ⅳ※
兼任	講師	蒲原 路明 <令和7年4月> 教育学士	兼任	講師	蒲原 路明 <令和7年4月> 教育学士
		理科指導法			理科指導法
兼任	講師	城 佳世 <令和8年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	城 佳世 <令和8年4月> 修士(教育学)
		音楽科指導法			音楽科指導法
兼任	講師	谷口 幹也 <令和7年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	谷口 幹也 <令和7年4月> 修士(教育学)
		図画工作指導法			図画工作指導法
兼任	講師	田中 由美子 <令和8年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	田中 由美子 <令和8年4月> 修士(教育学)
		家庭科指導法			家庭科指導法
兼任	講師	新山 美紀 <令和8年4月> M.A. in TESL(カナダ)	兼任	講師	新山 美紀 <令和8年4月> M.A. in TESL(カナダ)
		児童英語指導法			児童英語指導法
兼任	講師	光安 ひかり <令和8年4月> 学士(スポーツ学)	兼任	講師	光安 ひかり <令和8年4月> 学士(スポーツ学)
		ダンス指導法			ダンス指導法
兼任	講師	貞方 浩二 <令和6年4月> 修士(スポーツ健康科学)	兼任	講師	貞方 浩二 <令和6年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		器械運動指導法(体つくり運動を含む。) 体操(体つくり運動を含む。) 器械運動			器械運動指導法(体つくり運動を含む。) 体操(体つくり運動を含む。) 器械運動
兼任	講師	田島 さと <令和8年4月> 修士(体育学)	兼任	講師	田島 さと <令和8年4月> 修士(体育学)
		球技指導法B バドミントン			球技指導法B バドミントン
兼任	講師	渡邊 恵里 <令和7年4月> 学士(医学)	兼任	講師	渡邊 恵里 <令和7年4月> 学士(医学)
		精神保健			精神保健
兼任	講師	乙木 幸道 <令和7年4月> 修士(人間環境学)	兼任	講師	乙木 幸道 <令和7年4月> 修士(人間環境学)
		ジュニアスポーツ論 ジュニアスポーツ指導演習			ジュニアスポーツ論 ジュニアスポーツ指導演習
兼任	講師	秋山 理加 <令和6年4月> 博士(歯学)	兼任	講師	秋山 理加 <令和6年4月> 博士(歯学)
		衛生学及び公衆衛生学			衛生学及び公衆衛生学
兼任	講師	柴 梨沙 <令和6年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	柴 梨沙 <令和6年4月> 修士(教育学)
		陸上競技A 陸上競技B			陸上競技A 陸上競技B
兼任	講師	吹上 新悟 <令和8年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	吹上 新悟 <令和8年4月> 修士(教育学)
		テニス			テニス
兼任	講師	清水 知恵 <令和7年4月> 博士(人間環境学)	兼任	講師	清水 知恵 <令和7年4月> 博士(人間環境学)
		ダンス			ダンス
兼任	講師	本多 壮太郎 <令和7年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	本多 壮太郎 <令和7年4月> 修士(教育学)
		剣道			剣道
兼任	講師	堺 正之 <令和6年4月> 教育学修士	兼任	講師	堺 正之 <令和6年4月> 教育学修士
		教育原論 道徳教育指導法			道徳教育指導法
			兼任	講師	齋藤 圭祐 <令和6年4月> 修士(教育学)
					教育原論
兼任	講師	木村 菜太 <令和7年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	木村 菜太 <令和7年4月> 修士(教育学)
		教育制度論 教育課程論			教育制度論 教育課程論
兼任	講師	金子 研太 <令和8年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	金子 研太 <令和8年4月> 博士(教育学)
		教育方法論(情報通信技術の活用を含む。)			教育方法論(情報通信技術の活用を含む。)
兼任	講師	清水 良彦 <令和8年4月> 博士(教育学)	兼任	講師	清水 良彦 <令和8年4月> 博士(教育学)
		教育方法論(情報通信技術の活用を含む。)			教育方法論(情報通信技術の活用を含む。)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月> 保有学位等			<就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名

（注）

- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員含む。）を黒字で記入してください。

その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。

- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実（実）、実（実）、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ **不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。**
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・教育課程編成上の都合により、「ことばと日本文化」の担当教員を古浦修子兼任講師から大川内夏樹兼任講師へ変更、あわせて大場健司兼任講師から安河内敬太兼任講師へ変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「ことばと異文化」の担当教員を前屋敷太郎兼任講師から永松美保兼任教授へ変更、あわせて黄冬柏兼任教授の本科目担当を外す変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「日本語表現Ⅰ」の担当教員を井料佐紀子兼任講師から高須芳之介兼任講師へ変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」の担当教員を沙秀程教授から黄冬柏兼任教授へ変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「初級日本語ⅡB」の担当教員を沙秀程教授から楊慧准教授へ変更。
- ・森准教授の職位を准教授から教授へ変更（AC教員審査判定「可」）
- ・教育課程編成上の都合により、「キャリア基礎演習Ⅰ」の担当教員3名（花田道子講師、山口恭平講師、長嶺健講師）のうち、クラス数の関係から山口恭平講師を担当から外し、花田講師、長嶺講師の2名体制に変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「初級日本語ⅠC」の担当教員を井料佐紀子兼任講師から平田直子兼任講師へ変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「初級日本語ⅡB」の担当教員を沙秀程教授から楊慧准教授へ変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「初級日本語ⅡE」の担当教員に井料佐紀子兼任講師を追加する変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「中級日本語Ⅱ」の担当教員を井料佐紀子兼任講師から加納亜里沙兼任講師へ変更。
- ・日本スポーツ協会のアスレティックトレーナー養成講座の科目が変更されたことに伴い、「スポーツ医学」を「安全・健康管理」へ変更。
- ・教育課程編成上の都合により、「バスケットボール」の担当者から長嶺健講師を外し川面剛教授のみへ変更。
- ・小野村浩兼任教授の退職に伴い、「教職論」を毛利浩兼任教授へ変更し、「教職一般教養Ⅰ」「教職一般教養Ⅱ」については、糸山剣司兼任講師、松元早苗兼任講師、三浦千砂兼任講師、豊嶋慎司兼任講師の4名のオムニバスへ変更。「特別活動・総合的な学習の時間指導法」「生徒・進路指導論」「教職総合演習」「教職教養基礎Ⅰ」「教職教養基礎Ⅱ」「教職教養応用Ⅰ」「教職教養応用Ⅱ」については、次年度以降の開講科目であるため、開講までに担当者を決定する。
- ・教育課程編成上の都合により、「教育原論」の担当教員を堺正之兼任講師から齋藤圭祐兼任講師へ変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ませ**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) - ② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
7	2	6	0	15	0	7	1	6	0	14	0
(7)	(1)	(6)	(0)	(14)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
8	1	6	0	15	0	8	1	6	0	15	0
[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
教授65 その他60 歳	4 名	4 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{15} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{4}{14} = \boxed{28.57} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1							「該当なし」
2							「該当なし」
合計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- （注）・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後辞任した教員は、以下「（3）-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1		該当なし					
2		該当なし					
合計（F）					後任補充状況の集計（G）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- （注）・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記（3）- ① ・ （3）- ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）		
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{0}{15} = 0 \%$$

- （注）・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- （注）・（3）- ①、（3）- ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・令和6年度開設の学科等の場合、（D）+（F）と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1		該当なし								
2										
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和5年)	・教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学人数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。	【認可】 遵守事項 入学選抜については、令和6年度入学試験においては、初年度の入試ということもあり、募集・広報の期間が短かったため入学定員50名を満たすことが出来なかった。今後も高校訪問の計画的な実施を通じて、高校教員との信頼関係を構築するとともに、高校生への直接接点の機会である進学相談会への積極的な参加を通じて、本学科における学びの特長や教員採用試験の実績などの理解と周知を強化していくことで、志願者の増加と入学定員の確保に努める。(6)	履行中 教員間で学生の理解度および満足度等について情報共有を図り、指導体制の検証・改善に取り組む。また、改善した指導体制等について、受験生に分りやすい広報のあり方を検証する。 また、令和7年度より経済学部 経済・経営学科の入学定員360名を330名に減らし、30名の定員をスポーツ学部 スポーツ学科に振り替え、入学定員220名を250名に改める変更を行った。大学全体の入学定員に変更はない。
認 可 時 (令和5年)	・専任教員資格審査の結果により、「不可」や「保留」、「適格な職位・区分であれば可」となった授業科目については、確実に教員を充足させること。	【認可】 遵守事項 専任教員資格審査の結果「不可」となった教員が担当する授業科目については教員配置を見直し充足させている。本件は補正申請にて対応済み。(6)	履行済
認 可 時 (令和5年)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	【認可】 遵守事項 専任教員の本年度の定年規定に定める退職年齢を超える専任教員比率は28.57%となった。本学科の専任教員は次年度から着任予定の教員1名を除き既に着任済みであり、完成年度までは、現状の教員組織を維持して、教育の質の維持・向上に努める。(6)	履行中 完成年度後に退職予定である70歳以上の3名の後任補充において、令和10年度以降に30歳代～40歳代の教員を2名以上採用する。また、教育研究活動の中心となる40歳～64歳の専任教員は全体の約半数の6～7名程度配置するとともに、実践的な教育を維持する観点から、65歳以上の専任教員は2名以内の配置とする。定年を超える専任教員の後任補充については、福原学園大学教員名事計画委員会において採用方針を定め年齢構成を考慮した採用を行う。
認 可 時 (令和5年)	・経済学部経済・経営学科の収容定員超過の是正に努めること。	【認可】 遵守事項 収容定員超過の是正に努めるため経済学部 経済・経営学科の合格者数を抑え、調整を図った。(6)	履行済
認 可 時 (令和5年)	・経済学部地域創造学科の収容定員未充足の是正に努めること。	【認可】 遵守事項 収容定員未充足の状態を回復すべく学生募集活動に力を注ぎ、今年度は入学定員を充足した。(6)	履行済

認可時	・定員充足状況が悪化している組織が複数あることから、法人全体として設置校の今後の在り方を検討し、定員未充足の不断の改善等に努めること。 (九州共立大学経済学部地域創造学科、九州女子大学家政学部生活デザイン学科、九州女子短期大学こども健康学科)	【認可】 遵守事項	本学の地域創造学科については入学定員を満たすことができたものの、九州女子大学家政学部生活デザイン学科および九州女子短期大学こども健康学科については定員充足に至らなかった。	履行中	本学園では、第3次中期経営計画において、大学教育の質の向上のため、学部の収容定員充足率を成果指標に設定し、数値目標の達成に向けて取り組んできた。令和6年度からの第4次中期経営計画においても、本学および九州女子大学・九州女子短期大学の具体的計画として「定員管理」を掲げ、入学者数を成果指標とし、教育課程の充実、免許・資格取得、就職支援等の具体的計画について、毎年度計画する事業計画アクションプランの内容を確実に実践し、取り組み実績を評価・検証することにより、安定的な定員充足を目指している。この取組は各設置校による単体の取組ではなく福原学園全体の取組であり、定員充足に向け不断の改善に努めるべく教職員一丸となって取り組んでいる。
(令和5年)					

(注)・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<スポーツ学部 こどもスポーツ教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

大学設置基準第11条に基づき、「九州共立大学ファカルティ・ディベロップメント（以下、「FD」という。）委員会規程」を制定し、組織的なFD活動を展開している。このFD委員会は、全学的組織として学長が指名する者を委員長とし、教育の質的向上・授業改善等に向けた諸施策の企画・立案、FDに係る研究会および講習会の企画・運営、学生による授業評価等の企画・実施・改善を担っている。

九州共立大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程(平成20年3月19日施行)

第1条 九州共立大学評議会規則(平成4年学園規則第2号)第8条に基づき、九州共立大学ファカルティ・ディベロップメント委員会(以下「FD委員会」という。)を置く。

第2条 FD委員会は、建学の精神及び教育理念・目的に立脚し、教育内容等の向上に資するため、組織的な研修及び研究を実施することを目的とする。

第3条 FD委員会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 教育の質的向上に向けた諸施策の企画、立案及び実施に関する事項
- (2) 研究会及び講習会の企画及び運営に関する事項
- (3) 学生による授業評価等の企画、実施及び改善に関する事項
- (4) その他必要と認めた事項

第4条 FD委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 副学長
- (2) 各学部長
- (3) 各研究科長
- (4) 教務部長
- (5) 事務局長
- (6) 学長が推薦する教育職員 若干名

2 前項に定める委員のほか、学長が必要と認めた職員を委員に加えることができる。

第5条 前条第1項第7号及び第2項に定める委員の任期は、学長が別に定める。

第6条 FD委員会に委員長を置き、学長が指名する者をもって充てる。

2 委員長は、必要に応じてFD委員会を招集する。

3 FD委員会の議長は、教務部長とし、FD委員会を運営する。

4 委員長に事故のあるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

第7条 FD委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ開催することができない。

2 FD委員会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 委員長は、必要に応じて、委員以外の職員の出席を求め、意見を聴くことができる。

第8条 FD委員会は、第3条の各号に掲げる事項を実施するために、必要に応じて小委員会を設置することができる。

2 小委員会の運用に関し必要な事項は、別に定める。

第9条 FD委員会の事務は、教務課において処理する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年5月19日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年11月15日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年5月17日から施行し、同年4月1日より適用する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

第1回FD委員会開催予定：令和6年6月5日（水）15:30～

c 委員会の審議事項等

- ・ 教育の質的向上に向けた諸施策の企画、立案及び実施に関する事項
- ・ 研究会及び講習会の企画及び運営に関する事項
- ・ 学生による授業評価等の企画、実施及び改善に関する事項
- ・ その他必要と認めた事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ FD・SD研修会（年3回開催）
- ・ 授業評価アンケート（各学期1回開催）
- ・ 授業参観（年1回）
- ・ FDハンドブック作成
- ・ 授業改善報告書の作成

b 実施方法

FD研修会は、科学研究費助成事業の申請・獲得および公的研究費の不正防止のためのコンプライアンスを徹底させるため毎年実施している。また、毎年4月には当該年度の学長方針を全教職員に周知、徹底させるために説明会を実施し、SD研修に位置付けている。

さらに、昨年度は学生個人用のPCを活用した授業への参加、BYOD導入に伴うパソコンの基本操作等の対応および学修ポートフォリオの運用をテーマに研修会を開催した。

また11月に同一法人の九州女子大学が主催する、障害のある学生の支援について～障害者差別解消法の改正～、生成AIにおける教学面の取扱いと活用、個人点検・評価報告書（ティーチング・ポートフォリオ）記載の考え方をテーマに開催された研修会に参加した。

・授業参観(年1回)

令和5年度の授業参観については、前期（7月）または後期（12月～1月）のいずれかの学期で最低1科目の参観を行い、授業参観後に報告書を教務課に提出することとした。なお、教務課で取り纏め、申し出があった場合は、閲覧することができるように対応している。

・FDハンドブック作成

FDハンドブックは、教員の資質と能力向上にむけて、授業展開するにあたり留意すべき基本的な姿勢や考え方を示した授業実施に関するマニュアルであり、非常勤講師を含めた全教員に配布している。

年々の活動の振り返りによる授業改善等の事例なども盛り込み、年々の内容等の充実等、改訂を重ねている。

・授業改善報告書の作成

授業評価アンケートの集計結果を踏まえて、専任教員はティーチングポートフォリオに改善策を記述、非常勤講師全教員に「授業評価改善報告書」の提出を義務化し、次期の授業改善へフィードバックされる取り組みを行っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

【令和5年度のFD研修会】

①第1回FD・SD研修会

科学研究費助成事業申請等説明会

・令和6年度科学研究費助成事業申請について

・公的研究費の不正防止について

②第2回FD・SD研修会

BYOD導入に伴うパソコンの基本操作等の対応および学修ポートフォリオの運用について

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業評価アンケート結果は、各教員に集計結果を配付し、教員ごとの授業の内容・方法等および学生自身の授業への取り組み等に関する問題点を明らかにし、各教員が次年度に向けて授業改善に繋げている。

また、授業評価アンケート結果を踏まえた分析および改善点を記載した個人点検・評価報告書（ティーチング・ポートフォリオ）を学内に情報共有を図り、全学的な教育研究活動の質の向上を図る。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有 前期・後期年2回実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの集計結果は各教員に配布し、教務課で教員・学生が閲覧できるようにしている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学が位置する北九州市では、小学校高学年で導入が始まっている教科担任制をいち早く導入し、平成30年度より小学校外国語教育の推進や児童の体力向上を図るため、中学校の英語科、保健体育科の教員を中心に小学校へ異動させて配置する、学校種を越えた人事が行われている。また、令和元年度からは中学校教員が小学校に異動して学級担任をもつ「一部教科担任制」を一部の学校で導入している。このように児童・生徒期の教育の充実に力を入れている北九州市において教育活動を行っている本学は、地域の人材養成のニーズに対応すべく本学科を新設した。今年度の入学生から教育課程の運用が始まっているが、幅広い教養、「体育に強い」小学校教員の養成、教育者・支援者としてのコミュニケーション能力、課題発見・解決能力、および高い倫理性をもって自己の良心や社会のルールに従って、多様な人々と協働する力を養うべく、設置の趣旨に沿った教育を継続して実施する。入学者選抜については、令和6年度入学試験においては、初年度の入試ということもあり、募集・広報の期間が短かったため入学定員50名を満たすことができなかった。今後も高校訪問の計画的な実施を通じて、高校教員との信頼関係を構築するとともに、高校生への直接接点の機会である進学相談会への積極的な参加を通じて、本学科における学びの特長や教員採用試験の実績などの広報を強化していくことにより、志願者の増加と入学定員の確保に努める。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和6年4月 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開済み 大学HPトップページ>大学紹介>情報公開>自己点検評価活動

③ 認証評価を受ける計画

令和4年度に公益財団法人 日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受け、令和5年3月14日付で同機構から「日本高等教育評価機構が定める評価基準に適合していると認定する」との通知を受けた。認定の期間は、令和4年4月～令和11年3月までの7年間である。したがって、次の認証評価の受審は令和10年度を予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ ☐ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。